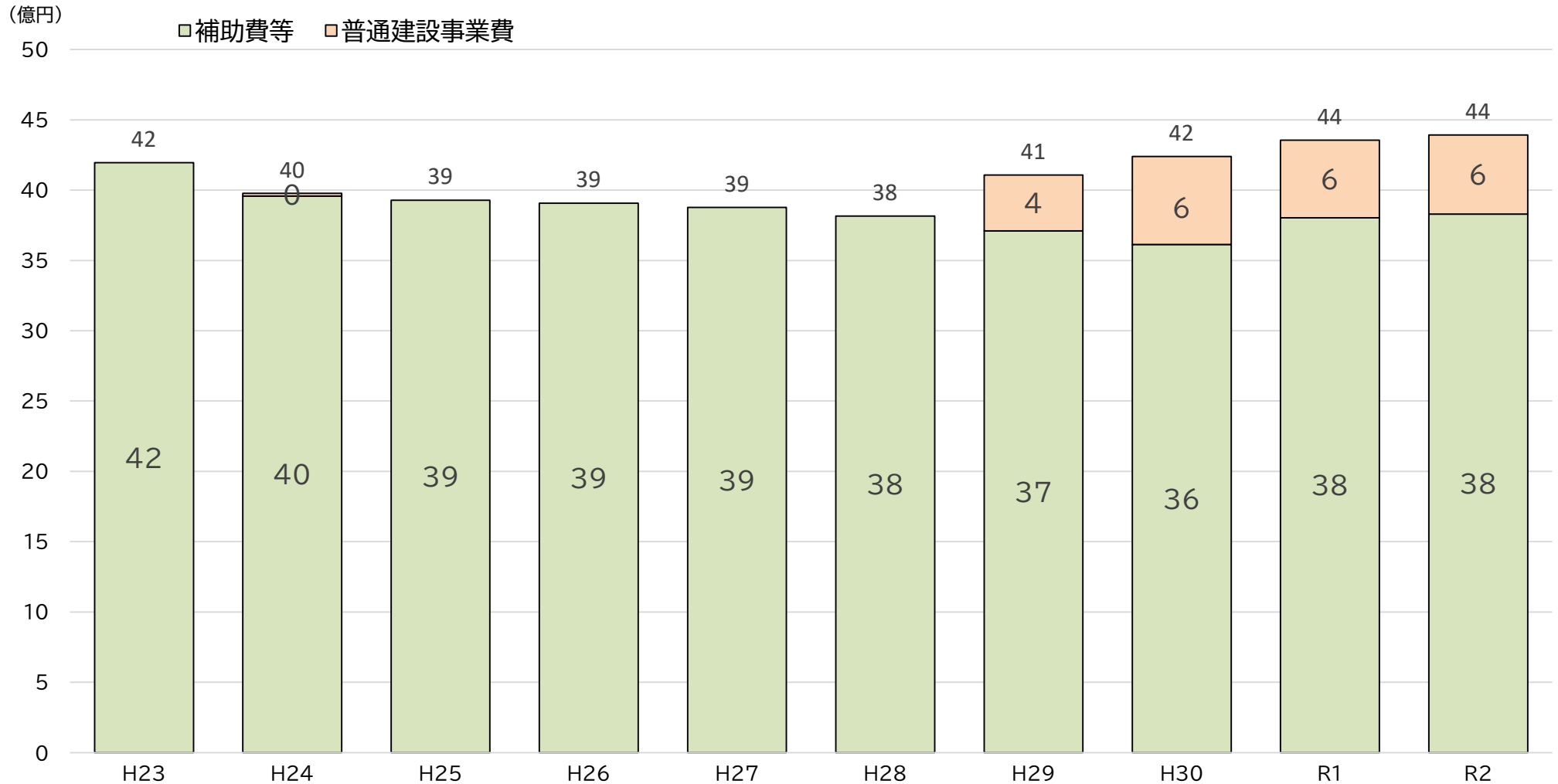


資料8 大学費の状況

岩手県総務部

【大学費】 歳出の推移

- 本県には県立大学が1校設置されている(岩手県立大学)。当該大学は4学部、4研究科を有し、2つの短期大学部を併設。
- 大学費に係る歳出は、令和2年度において44億円となっており、補助費等(当該大学への運営費交付金)が大きな割合を占めている。
- 大学が設置(1998年に設置)から20年程度が経過し、改修工事等の費用が生じ始めている(当時の建設費用:460億円程度)。



【大学費】一般財源負担額と基準財政需要額の比較

○本県の大学費に係る一般財源負担額と基準財政需要額を比較すると、H29までは12億円程度の乖離額であったが、H30年以降、乖離額が拡大傾向にある(R2+16億円)。

○乖離額が拡大傾向にある要因としては、近年の地方交付税における補正係数の見直し(理科系学部及び保健系学部等の学生一人当たり単価の減少)により基準財政需要額が減少しているのに対して、必要となる一般財源負担額が横ばいで推移していることが考えられる。

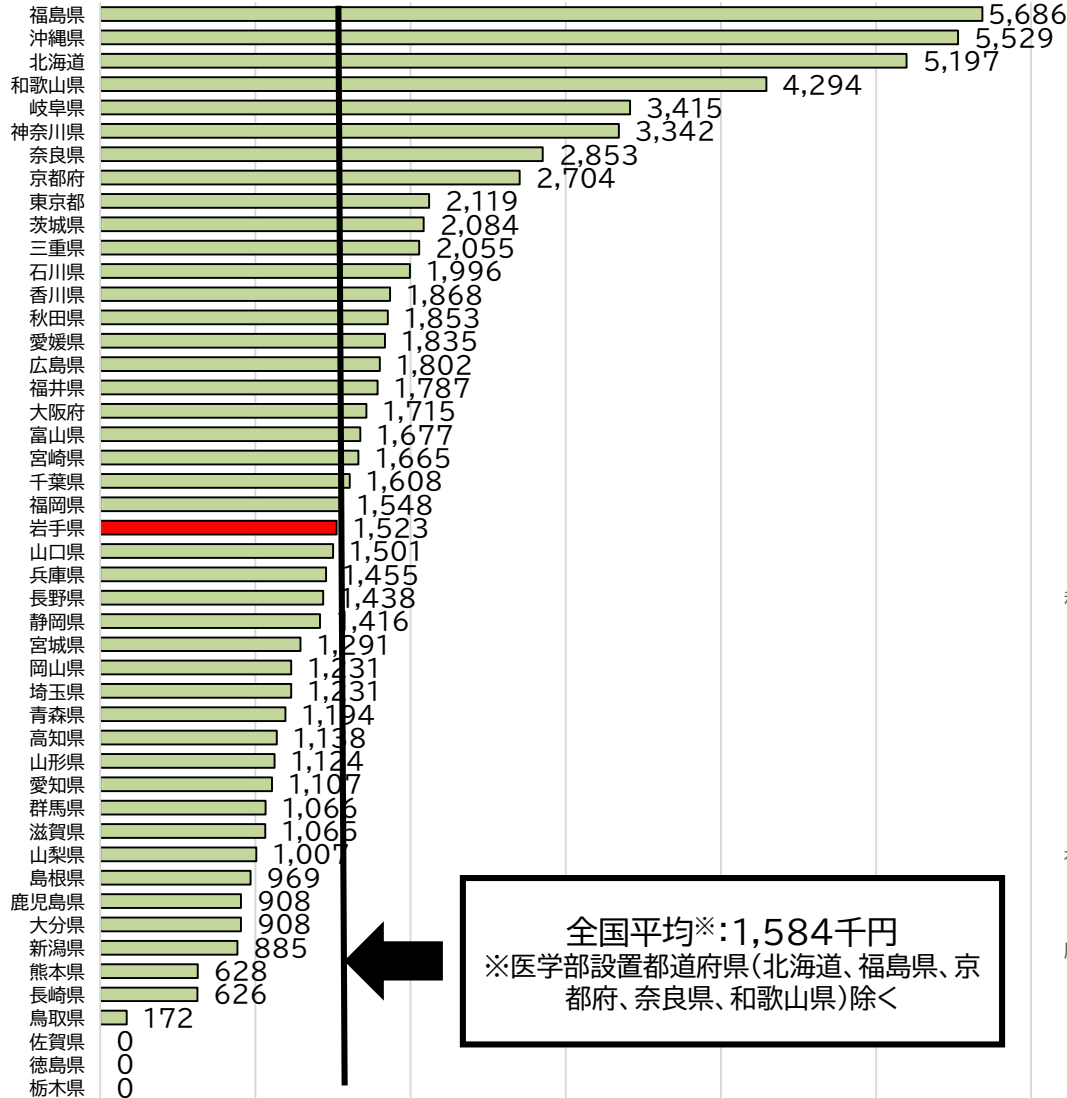


【大学費】他都道府県との比較

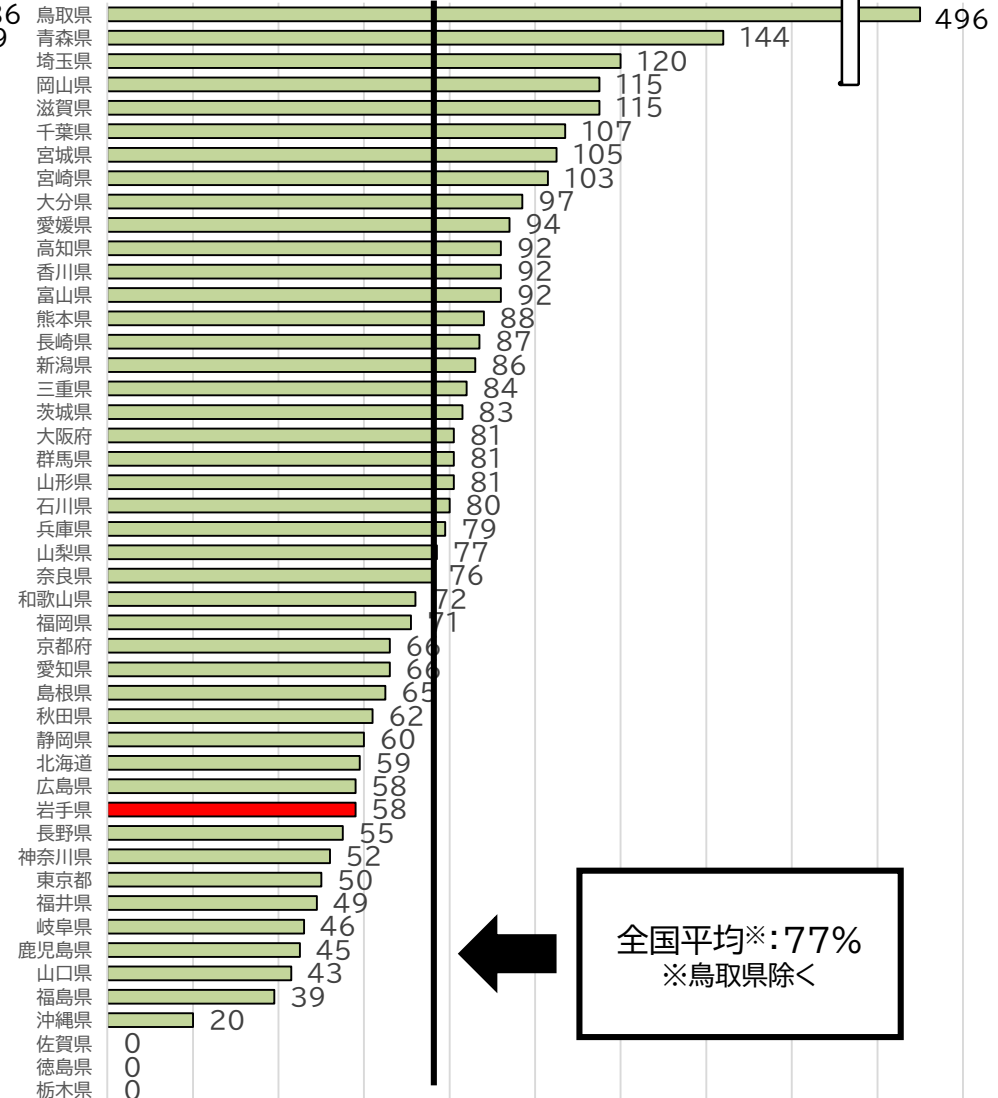
- 生徒一人あたり一般財源負担額1,523千円(全国23位)で、全国平均(1,584千円)と概ね同程度であるものの、交付税措置率は58%(全国35位)となっており、全国平均(77%)と比較して低い水準にある(財源が不足している状態)。
- 持続可能な大学運営のため、第四期中期計画の策定等に向けては、大学運営費等に係るスリム化方策についてのさらなる検討が必要。

生徒一人あたり一般財源負担額(千円)

交付税措置率(%)



全国平均※:1,584千円
 ※医学部設置都道府県(北海道、福島県、京都府、奈良県、和歌山県)除く



全国平均※:77%
 ※鳥取県除く

・ 出典:地方財政状況調査(決算統計)及び総務省HP(基準財政需要額)より作成